

## 大会における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について 12.1

広島県バスケットボール協会 U15 部会

### 1. 大会組織

- (1) 「感染症対策責任者」を置く。

### 2. 注意喚起・奨励啓発

- (1) 大会参加者（選手・指導者・応援者・審判員など）に手洗い・消毒の推奨を徹底し、啓発を行う。
- (2) 大会参加者（選手・指導者・応援者・審判員など）にマスク着用を徹底する。

### 3. チーム関係者（指導者・選手）

- (1) 選手の会場への入館開始時間を、試合開始時間の1時間前とする。
- (2) 試合当日、「健康チェックシート」を「感染症対策責任者」へ提出する。  
指導者・選手は、入館時の検温を行う。
- (3) 着替えができるだけ少なくすむバスケットスタイルで、参加すること。
- (4) 選手は、自分専用のタオルと飲み物を持参し、他人と共用しないこと。
- (5) 選手は競技中やアップのとき以外は、マスクを常時着用する。
- (6) ベンチのスタッフも、マスクを常時着用する。
- (7) ベンチでは、集団での応援（歌や集団で声を出しての応援）はしないこと。
- (8) コートに出る選手は、コートに出る前に、自分のマスクが他の人のものに接触しないように、自分のタオルに挟んでベンチに置くこと。またはマスクを入れる袋等を持参すること。
- (9) タイムアウトでベンチに戻った選手は、できるだけ間隔をとって座る。
- (10) 試合終了後、交代席を含むチームベンチは、試合で使用したチームスタッフで消毒をすること。TO席・TO機器は、役員で消毒する。
- (11) 密集を避けるため、ベンチの消毒が終わり、指導者からの指示があるまでは、次試合のチームはフロアに入らないこと。
- (12) TO生徒、モップの生徒もマスクを着用すること。
- (13) 次の試合がないチームは、速やかに退館すること。
- (14) 会場への移動については、各チームで分散集合、分散解散等を行う等、公共交通機関が密にならないような配慮を行う。

### 4. 観客

- (1) 自チームの試合だけ観戦できる。試合開始時間の20分前から入館できる。試合ごとに入れ替えをする。
- (2) 観客は、マスクを着用する。大きな声を出しての応援はできない。
- (3) 入館時の検温をし、本部が用意した一覧表に名前・関係チーム名等を記入する。

## 5. その他

- (1) 消毒液・予備のマスク、ゴム手袋、ごみ袋、ハンドソープ、非接触式検温計、雑巾等を会場に準備する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症等で、緊急事態宣言が出される等、社会情勢上、大会開催が困難な場合、大会を中止することがある。その際にかかるキャンセル料は、大会で負担しない。

## 6. 大会参加の基本的な考え方

### 【選手個人の参加について】

- (1) 本人・保護者は、大会要項やガイドラインを確認し、同意の上、大会に参加すること。
- (2) 「健康チェックシート」にチェック✓が見つからない項目がある場合は、参加を見合わせ・来場も見合わせる。
  - ・選手は、検温の結果、37.0 以上の場合は、時間をおいて2・3度検温をする。いずれも37.0 以上の場合は、大会への参加を見合わせる。37.5 以上の場合は、すぐ不参加を決定する。
  - ・選手は、体調が良くない場合（咳・咽頭痛・味覚・臭覚障害などの症状がある場合）は、大会への参加を見合わせる。
  - ・チーム指導者は、選手が入館時または入館後、発熱等の症状が出た場合、保護者に連絡を取り、帰宅させる。あらかじめ、保護者に迎えに来てもらう場合があることを周知しておくこと。同時に、連絡できるように準備をしておくこと。

### 【チームの参加について】

- (1) 感染者及び濃厚接触者が判明した場合は、チームが所属する地域の保健所に早急に届け出ること。その後は、保健所の指示に従うこと。  
そのチームの代表者は、大会本部または広島県バスケットボール協会 U15 部会まで連絡をすること。
- (2) 感染が疑われる体調不良者が出た場合は、  
「ユース」「クラブ」チームは、チーム責任者・保護者代表と連絡を取り、チームの参加を検討する。  
「中学校」チームは、協会主催の大会であっても学校長と連絡を取り相談すること。また保護者代表とも連絡を取り、チームの参加を検討する。

### **参考「JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン 第2版」 p 11～p 18**

\*大会参加への自粛が行われた場合、このことに対してチーム内・チーム関係者・保護者等の間で誹謗中傷が起こらないように配慮する。